

2019年1月18日
愛知製鋼株式会社

素材メーカーとしての新たな飛躍をめざして

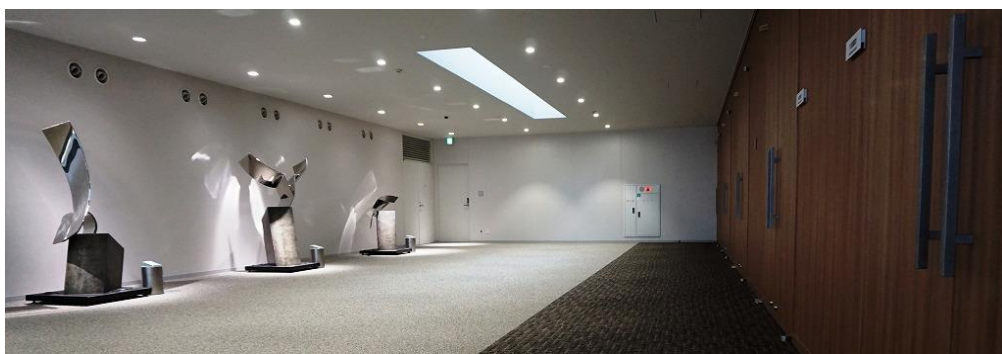
～本館ホール棟 ホワイエに新たにモニュメントを設置～

愛知製鋼株式会社（本社：愛知県東海市、代表取締役社長：藤岡高広）は、当社の次世代への飛躍と年輪的成長を期して、本館ホール棟 2階ホワイエにステンレス鋼製のモニュメントを設置しました。

このモニュメントは、「越」、「翔」、「進」と名づけられた3つのモニュメントから構成されており、製鋼工程の溶鋼をイメージした土台から、鍍片をかたどった立体が立ち上がり、各テーマを象徴する美しいステンレス鋼製のオブジェクトにつながるデザインとなっています。そして、いかなる困難をも乗り「越」え、輝かしい未来へと舞い上がり（「翔」）、姿を変えながら新たな時代に向けて邁「進」していくというメッセージが込められています。

また、当社グループ社員の心の拠り所である「AICHI WAY」をベースに、創業の精神を大切にしながら（「伝承」）、お客様とチームメンバーに「感謝」し、「よい品 よい考」で、創意工夫を続けることで（「創造」）、会社一丸となって新たな世界へ歩み出そうという、当社のゆるぎない意思を表しています。

これからも当社は、素材メーカーとして様々な事業領域で発展させながら、付加価値の高い製品をお客様に提供し、「素材で新たなスマート社会を共創」する形を実現していきます。



ホワイエ全景



設置されたモニュメント(左から 越、翔、進)